

特集

職業に対するアンコンシャス・バイアス

将来なりたい職業について、女の子が「ITエンジニアになりたくない」、男の子が「保育士になりたい」と言っていたらどのように感じますか？



男女には身体的な差があるため、性別によって制限されている職業があります。

しかし身体的な差が関係ない職業についても「女性だから」「男性だから」と、性別というカテゴリーに捉われていることはありませんか？

アンコンシャス・バイアス
アンコンシャス・バイアスに気づこう

「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の思い込み・偏見」と訳されます。

アンコンシャス・バイアスは誰もが持っている、それ自体に良い悪いはありません。

しかし、それに気づかないでいると、知らないうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めていたりすることがあります。

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれています！

①力仕事は男性がすべき？

男性の中でも身体能力などによって力仕事が得意・不得意があります。性別ではなく、一人一人の得意・不得意に合わせて役割分担していくことが、働きやすい職場環境づくりにつながります。

中学生を対象に「将来なりたい職業」を男女別に調査したアンケート結果

順位	職業	男子
1	会社員	
2	ITエンジニア/プログラマー	
3	公務員	
3	You Tuber/動画投稿者	
5	ゲーム制作	
6	鉄道の運転士	
7	サッカー選手	
7	医師	
9	教師/教員	
10	野球選手、警察官、料理人/シェフ、eスポーツ選手	

右の表は中学生を対象に、「将来なりたい職業」を男女別に調査したアンケート結果です。会社員、公務員は男女に共通していますが、男子には「看護師」、「幼稚園の先生/保育士」、女子には「ITエンジニア/プログラマー」、「スポーツ選手」などが上位10位に

順位	職業	女子
1	会社員	
2	公務員	
3	看護師	
4	パティシエ	
5	教師/教員	
6	幼稚園の先生/保育士	
7	料理人/シェフ	
7	医師	
7	アナウンサー	
10	ヘア・メイクアップアーティスト	

ランクインしておらず、男女の職業像には違いがあることが明確です。「男女で違いがあるのは当たり前」と思う人もいます。では、その違いはいつ、なぜ出てきたのでしょうか。そしてその違いは本当に「当たり前」なのか考えてみましょう。

②お茶出し・お土産の配布は女性がやるもの？

例えば来客があった際、「業務が忙しいの女性社員」と「今は比較的手が空いている男性社員」では、どちらにお茶出しをお願いしたほうが効率がいいでしょうか。能力に関係なく、片方の性別だけに役割を押し付けることは、業務の効率や職場風土に悪影響を及ぼすことがあります。

③男性なら機械の扱いが得意？

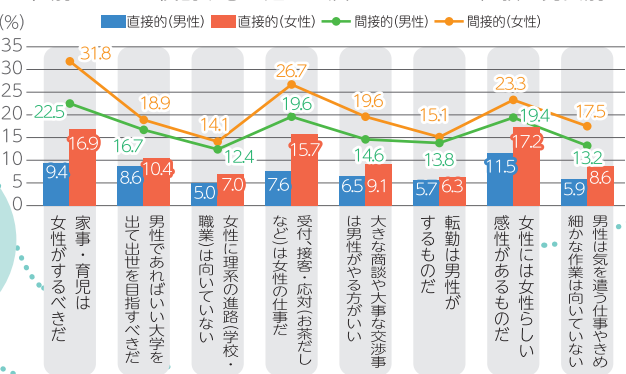
これまでの経験や環境、個人の能力によって得意なこと・得意ではないことがあります。「男性ならできて当たり前」「女性ならできて当たり前」という考え方は当たり前ではありません。

④子どもがいる女性に単身赴任や出張は難しい？

一方的に難しいと決めつけて業務内容を制限することは、キャリアや成長を妨げる可能性があります。女性自身の考えを一度確認することが大切です。

こんな経験ありませんか？

性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験 男女別



野球と相撲が大好きなのですが、「野球と相撲しかないの？女子力は？」と、女性らしくない感性として否定されます。(女性・40代)

内閣府男女共同参画局
令和3年度
性別による無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス)
に関する調査研究より作成

「男なんだから子どもの事で休みを取るな」と男の上司に言われた。(男性・30代)

臨床医として心臓外科への入局を希望した際、女医に外科医は向かないと回答拒絶をされた。(女性・60代)